
電子操業日誌「PlantLogMeister」 スプレッドシートパッケージを標準機能に追加 - 基本パッケージの機能を強化し、工場・プラントのDX実現を支援 -

東芝三菱電機産業システム株式会社(以下、TMEIC)(社長:山脇 雅彦)は、2021年7月より電子操業日誌「PlantLogMeister(プラント・ログ・マイスター、以下PLM)」*1のオプションパッケージである「スプレッドシートパッケージ」を「PLM」の標準メニューに組み込み、販売を開始しました。

「PLM」は、工場・プラントの運転日誌デジタル化を支援する製品です。標準機能として、工場・プラントにおけるプロセスデータや現場点検データを自動で取り込み、手入力の操業情報と組み合わせての申し送りや、運転日誌への反映を行うことができます。「スプレッドシートパッケージ」は、「PLM」シリーズ製品のの一つで、標準機能で取り込んだ各種データを用い、製造ラインごとにスプレッドシート形式の帳票を作成し、帳票の電子承認ワークフローを回すことなどができるパッケージです。従来はオプションメニューとして提供していましたが、帳票の作成業務や工場・プラントの各種データ管理・運用業務をPLMへ一元化することでPLM自体の使い勝手も向上することから、これを標準搭載し、基本パッケージとして機能拡充しました。なお、「PLM」を既に導入いただいているお客様は、追加費用なしで使用していただくことができます。

標準メニューに追加する「スプレッドシートパッケージ」の主な機能は次の通りです。

<主な機能>

1. 製造ラインごとの帳票作成機能: プロセスデータや現場点検データ、あるいは他の帳票から、あらかじめ設定した帳票フォーマットにデータを自動で取り込み、操業データを集約した新たな帳票を製造ラインごとに作成します。そのため、帳票を効率的に管理・活用が可能となります。
2. 帳票の電子承認機能: 帳票毎に承認者を設定でき、帳票起票後の承認・回付の進行を自動で行うため、帳票の承認作業の省力化を実現します。
3. 全画面表示機能: 複数の数値データを組み合わせた大きな帳票をPLMの画面全体に表示できることで、作業性が向上します。

産業第一システム事業部 産業第一営業部長 北中 快昌 コメント:

「2011年に販売を開始したPLMは石油化学業界に加え、食品・飲料、ガスや素材関連といった幅広い業界でご利用いただいておりますが、近年、オプションパッケージである『スプレッドシートパッケージ』を初期段階から導入を希望されるケースが増えてまいりました。TMEICは、今後もこのようなニーズに対応した製品開発を進め、お客様のDXによる製造現場の業務効率化を支援する製品・サービスの提供に努めてまいります。」

*1 「PlantLogMeister」は東芝三菱電機産業システム株式会社の日本における商標です。

製品の詳細は以下をご参照ください。

https://www.tmeic.co.jp/product/industries/process/solution/support_plantlog/

報道関係からのお問い合わせ先

東芝三菱電機産業システム株式会社 経営企画本部 ブランド企画グループ <https://www.tmeic.co.jp/>

〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン Tel: 03-3277-4319 Fax: 03-3277-4578

TMEIC(ティーマイク)は、社会を支える基盤である「ものづくり」の現場ニーズにお応えするために、社会の発展と美しい地球環境とを調和させる産業システムインテグレータとして、「産業」「社会」「環境」の未来を常に見据えています。工場・プラントにおいて原動力となっている回転機、電力を変換・制御するパワーエレクトロニクス、そしてプラント全体を計画し実現するエンジニアリング、これらの技術をコアに、ものづくりと環境マネジメントに最先端の技術で貢献していきます。